

牧師所感：

うわさの真贋

筆者が罪赦され、キリスト者になったということは、罪深い者、この世から賤民と称される人々と友となられた主イエスに救われたからである。

主イエスが当時、御自分の弟子として選ばれたのが、この世では蔑まれていた名も無い無学な賤民達であった。だが身分の高い人、学識のある人、名誉を受けて尊敬されていた人々を敵に廻したのではない。むしろ彼らを尊敬していた。当時身分の高いサンヘドリン（国会）の議員であったニコデモと交わりがあった。ニコデモは別として、社会に於いて力を振るっていた人々はイエスを敬遠し敵対していた。で、イエスの評判は身分の高い人には忌む者となり、平民達においては友となった。

ところで主イエスが平民達の友となって、病いに苦しんでいた人々を癒されたこと、
、
がうわさを招いた。

新約聖書ルカによる福音書第4章31節～5章15節を読むと主イエスが平民達の友として迎えられた出来事を詳しく知ることが出来る。つまり悪霊を追い出し、上に書いてあるように、あらゆる病気をお癒しになられたことを知ることが出来る。で、キリスト者はこの社会に於いて良い評判（うわさ）をもたらさなければ伝道はむずかしい。

さて昨日、筆者は下肢の神経痛の為、東金市のとよだ整形外科医院に行ってきた。土曜日でもあって忙しい人々が順番を待っていた。筆者も東金の隣の八街市から早朝8時半に医院に到着したが、12時過ぎにやっと診療を終え、帰宅することが出来た。とよだ整形外科医院には何故患者が殺到するのだろう。

リハビリ治療も効果をもたらすであろうけれど、他の病院では打ってくれない注射を打ってもらうためではないかと考えた。

うわさ、うわさを聞いて人々が殺到する。もし筆者に並みならぬ霊力があって、人々の魂に平安を与えることが出来れば、うわさによって人々は殺到するだろう。うわさには、偽りのうわさもある。神よ、全能の神よ、教会はイエス・キリストによって、うわさの真贋に勝利を与え給え！

おわりに、良いうわさ（福音）を、日本の国民にもたらす主の僕とならしめて下さい。主によって、アーメン。